

令和4年度 第2回 東北地方整備局事業評価監視委員会 審議案件一覧表

資料 番号	審議 区分	県名	プロジェクト名	前回 評価 年度 ()は今回 再評価理由	事業計画等の変化			事業費の変化			事業期間の変化		主な便益の変化		費用便益比の変化				対応方針 (原案)		
					対象施設	施設 規模 (総延長)	変更内容	前回 (億円)	今回 (億円) 【 】は前回との差	主な 変化要因	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	全体		残事業				
															前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差			
10-1	重点	福島県	小名浜港国際物流 ターミナル整備事 業	H29 (前回評価 後5年)	岸壁(水深18m) (耐震)	370m	-	1,693	1,769 【+76億円】	○不等沈下によ る断面変更 ○材料労務単価 等上昇	42年	47年 【+5年】	S62~R10	S62~R15	①輸送コスト削減：857万トン/年 ②滞船コスト削減：591日/年 ③耐震強化岸壁整備に伴う輸送効率化 ：134万トン/地震発生後3ヶ月間 耐震強化岸壁整備に伴う輸送効率化 ：1,800万トン/地震発生後4ヶ月~24ヶ月 ④海難による損失回避：10隻	①輸送コスト削減：676万トン/年 【-181万トン/年】 ②滞船コスト削減：460日/年 【-131日/年】 ③耐震強化岸壁整備に伴う輸送効率化 ：89万トン/地震発生後3ヶ月間 【-45万トン/年】 耐震強化岸壁整備に伴う輸送効率化 ：1,304万トン/地震発生後4ヶ月~24ヶ月 【-496万トン/年】 ④海難による損失回避：10隻 【同左】	1.7	1.2 【-0.5】	6.5	6.7 【+0.2】	事業継続
					航路・泊地 (水深18m)	78ha	-														
					航路(水深18m)	38ha	-														
					航路(水深19m)	33ha	-														
					臨港道路	1,805m	-														
					護岸(防波)	618m	-														
					岸壁(水深16m) (耐震)	220m	-														
					航路・泊地 (水深16m)	8ha	-														
					泊地 (水深16m)	1ha	-														
					荷役機械	1式	-														
					防波堤(沖)	1,140m	-														
					防波堤(第二沖)	860m	-														
中央防波堤	50m	-																			